

海外県人会次世代人材交流・育成事業委託業務
評価基準（プロポーザル方式）

審査項目	審査の視点	配点
事業目的の理解度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目的を的確かつ適切に捉えた提案となっているか。 ・ 目的に沿った全体設計となっているか。 	20
企画の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現実的かつ効果的な提案となっているか。 ・ 佐賀らしさ（県産品・地域との接点等）が反映されているか。 ・ 独自の視点や創意工夫があるか。 	20
実施体制の適格性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本及びブラジルでの業務の実施体制が明確で、配置が適切であるか。 ・ 添乗員の配置を含め、必要な体制が確保されているか。 ・ 業務実行可能で適切な計画になっているか。 ・ 不測の事態（フライト変更や体調不良等）への対応フローやサポート体制があるか。 	30
同種業務の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同種または類似業務に関する実績があり、確実な履行能力があると判断できるか。 	20
経費の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的かつ明瞭であり、業務内容に対して適正な金額となっているか。 	10
合計		100

※最低基準点は5割とする。（100点×50％＝50点）

※最優秀提案者となるべき評価点の最も高い者が2者以上あるときは、審査会の会長が最優秀提案者を選定する。